

令和5度「文化芸術による子供育成推進事業 出演希望調書(実演芸術)」

分野、種目(該当する分野、種目を選択してください。)

分野	音楽	種目	オーケストラ等
----	----	----	---------

申請区分(申請する区分を選択してください。)

申請区分	C区分
------	-----

複数申請の状況(該当するものを選択してください。) ※B区分継続団体については、申請企画数から除く

複数申請の有無	無	申請総企画数	
---------	---	--------	--

複数の企画が採択された場合の実施体制(該当するものを選択してください。)

※複数申請の有無で【無】を選択された場合は、未記入で構いません。(グレーアウトされます。)

複数の企画が採択された場合の実施体制	
--------------------	--

芸術文化団体の概要

ふりがな 制作団体名	いまじねーしょんぶらすごうどうがいしゃ イメージネーションプラス合同会社	団体ウェブサイトURL	
代表者職・氏名	代表社員 持田幸枝		
制作団体所在地	〒 1080074 東京都港区高輪2丁目1-11-110	最寄り駅(バス停)	
電話番号	03-3445-5403		
ふりがな 公演団体名	ふるのみうあきふるのーつ じゃずとりお 古野光昭フルノーツ ジャズ・トリオ	団体ウェブサイトURL	
代表者職・氏名	バンドマスター 古野光昭		
公演団体所在地	〒 同上	最寄り駅(バス停)	
制作団体 設立年月	2009年 5月 (任意団体は1999年9月から)		
制作団体組織	役職員	団体構成員及び加入条件等	
	持田幸枝(代表)、 古野光昭、寺井尚子、 浅枝康彦(監査)	公演団体員他、ジャズミュージシャン13名、事務局とで構成され、顧問・古野光昭、寺井尚子の審査基準(音楽性、テクニック等)により、加入。	
事務体制 (専任担当の有無)	専任の事務担当者を置く	本事業担当者名	持田 幸枝
経理処理等の 監査担当の有無	有	経理責任者名	持田 房子

<p>制作団体沿革</p>	<p>1999年 ベースの巨匠といわれる古野光昭が、日本ジャズ界最強メンバーによるユニット「フルノーツ」を結成したことをきっかけに、任意団体を発足。 2007年 音楽の素晴らしさ、ジャズの楽しさをより一層伝えるため、世界的に活躍するジャズ・ヴァイオリニスト寺井尚子をメンバーに迎え、子どもたちを対象としたジャズコンサートプログラム「子どものためのジャズコンサート」を開始。 2009年 法人化。イマジネーションプラス合同会社となる。 2010年「子どものためのジャズコンサート」(於:六本木ヒルズアリーナ)を開催。以降、毎年同会場にて同イベントを第10回まで開催。(現在コロナのためお休み) 2021年12月鎌倉芸術館にて「古野光昭フルノーツ wuth 渡辺香津美・山下洋輔」に林家正蔵を迎え、コンサートを行う。(ARTS for the future!) 現在 拠点である港区を中心に、コンサートや学校でのワークショップ等を精力的に行い、文化による社会貢献、またSDGs(持続可能な開発目標)を担うべく、大きな理想を持ち、活動を続けている。</p>			
<p>学校等における公演実績</p>	<p>【文化庁巡回公演事業】 採択実績:平成21年、22年、24年、25年、28年、29年度、令和3年度、4年度 【学校での公演実績】 足立区立保木間小学校、港区立御田小学校、港区立白金小学校、港区立本村小学校、港区立青山小学校、港区立南山小学校、港区立芝浦小学校、港区立麻布小学校、港区立白金の丘学園、港区立高輪台小学校、千葉県浦安市立日の出中学校、徳島市立国府中学校、徳島市立川内中学校、いわき市立平第三小学校、いわき市立錦小学校、田村市立瀬川小学校、田村郡小野町立小野新町小学校、いわき市立湯本第一小学校、角田市立枝野小学校、宇都宮市立姿川第一小学校、宇都宮市立国本中央小学校、狭山市立南小学校、日本大学習志野高等学校、福井県立金津高等学校 他多数 【その他】 「子どものためのジャズコンサート」(2010年-2011年)「子どものためのジャズコンサート&ソーシャル・カルチャー・フェスティバル」(2012年-2019年) 会場:六本木ヒルズアリーナ 後援:文部科学省、外務省、東京都教育委員会 他</p>			
<p>特別支援学校等における公演実績</p>	<p>平取養護学校ベテカリの園分校、春日部特別支援学校、南那須特別支援学校 出雲養護学校、足利特別支援学校、くわな特別支援学校、中原養護学校、清水特別支援学校、豊川特別支援学校 東京都の特別支援学校より、一緒に、コンサートにて共演する子供たちをチラシにて募集し、前もって、何度か会場を借りて演奏家が一人一人指導し、公演当日は、一般の子供たちと一緒に、ステージに立って演奏等を行った。(この企画は、何度も開催)</p>			
<p>参考資料の有無</p>	<p>申請する演目のWEB公開資料</p>	<p>有</p>		
	<p>※公開資料有の場合URL</p>	<p>https://vimeo.com/757928084</p>		
	<p>※閲覧に権限が必要な場合のIDおよびパスワード</p>	<p>ID:</p>	<p>2分間です(画像不安定)</p>	
		<p>PW:</p>	<p>Ckodomo</p>	

公演・ワークショップの内容

【公演団体名 古野光昭フルノーツ ジャズ・トリオ 】

対象	小学生(低学年)	○	/
	小学生(中学年)	○	
	小学生(高学年)	○	
	中学生	○	
企画名	ジャズでスウィング！		
本公演演目 原作/作曲 脚本 演出/振付	<p>ジャズのリズムを体で感じる演目です。演奏を聴くだけでなく、手拍子、ダンス、ボディーパーカッションで楽しめます。子供だって、スイングします！</p> <p>1)ジャズのスタンダードを演奏します。「A列車で行こう/作曲=ビリー・ストレイホーン」「モーニン/作曲=ボビー・ティモンズ」 2)ジャズの種類を歴史を交えて語り、代表曲を演奏します。○デキシーランドジャズ 代表曲「聖者の行進/アメリカ民謡」○スウィングジャズ 代表曲「茶色の小瓶/作曲=ジョセフ・ウイナー」○モダンジャズ 代表曲「ドナ・リー/作曲=チャーリー・パーカー」 3)メンバー紹介 4)先生との共演(有志の先生と一緒に演奏します) 5)校歌のジャズアレンジ <休憩> 6)共演(多彩な企画を準備しています)※下記の共演の欄参照 7)共演ダンス(「君をのせて/作曲=久石 譲」ジャズバージョン、「テイク・ファイブ/作曲=ポール・デズモンド」 8)ミドレー 「アメリカン・パトロール/作曲=フランク・W・ミーチャム」「小象の行進/作曲=ヘンリー・マンシーニ」「ルパンⅢ/作曲=大野 雄二」「セント・トーマス/作曲=ソニー・ロリンスアレンジ」(アニメ曲からクラシック曲まで。リクエストにも応じます) 9)ジャズとリズムダンス 「ウォーター・メロンマン/作曲=ハービー・ハンコック」「LOVE/作曲=Bert Kaempfert」 10)アンコール「オレオ/作曲=ソニー・ロリンス」「上を向いて歩こう」</p> <p style="text-align: right;">公演時間 90 分</p>		
著作権、上演権利等の許諾状況	各種上演権、使用権等の許諾手続きの要否	該当あり	該当コンテンツ名 JASRAC
	該当事項がある場合	権利者名	許諾確認状況
演目概要	子供たちが、平素、触れ合うことが少ない、ジャズという音楽で、楽しく感動的な時間を共有します。ワークショップで練習した楽器を使っただけの共演や、ダンスも、身体で感じ、より感性を刺激します。少ない楽器でも、素晴らしい音楽が奏でられ、リズムも感じられる演目です。実力のある演者がそろうので、子供たちのために披露します。ワークショップだけでなく、本公演にも参加しながら一緒に体験は、子供たちの心に残ります。		
演目選択理由	ジャズのスタンダードを中心に、構成しました。子供が楽しめるメロディーと、ウキウキするようなリズムのある曲を選択しています。子供たちの教科書にも掲載されている「聖者の行進」や「茶色の小瓶」なども、ジャズの曲で、色々な歴史を経て、世界中で親しまれることも伝えます。校歌が、ジャズアレンジで、驚くほど素敵に変化することも体験します。ジャズの特長は、リズムだけでなく、即興演奏の醍醐味であり、聴く人を惹きつけることも伝え、個性がより濃く表現できる音楽であることで、子供たちの自由な表現力を後押しします。また、音楽にのって体を動かすことで、よりインパクトを与え、感性を刺激致します。		
児童・生徒の共演、参加又は体験の形態	1)下記の形態で共演・参加・体験をします。ワークショップにて、練習を行います。(合唱以外) 2)親しみのある楽曲を準備してもらい、希望者(各学年、クラス、吹奏楽部など)と、演奏家との共演を行います。 3)歌の共演を行います。(全校児童、全校生徒)希望曲をお知らせください。 4)ジャズスタンダード曲の共演を行います。「Cジャムブルース/作曲=デューク・エリントン」(全校児童、全校生徒) 5)ボディーパーカッションとかけ声を交えたコラボレーションを行います。(全校児童、全校生徒)「テキーラ/作曲=ダニエル・フローレス」 6)ジャズの曲に合わせてダンスを踊ります。「君をのせて〜ジャズバージョン」「テイク・ファイブ」		
出演者	◎古野光昭 Mitsuki Furuno (ウッドベース・ハンドマスター) 東京音楽大学卒業。NHK交響楽団元首席・檜山薫氏に師事。渡辺貞夫、阿川泰子グループ等のレギュラーを歴任し、久石 譲ワールドドリームオーケストラ(新日本フィル)のツアー、レコーディングにも参加。ベースの巨匠とよばれる、日本を代表するベーシスト。 ○魚返明未 Ami Ogaeri (ピアノ・作曲家) 東京芸術大学音楽学部作曲科を卒業。大学生の時期より、リーダーアルバムをリリース、また自作曲の作品をプロのアルバムに楽曲提供する等、活躍を続けている。才能あふれる若手ナンバーワンのピアニスト。 ○デイビット・ネグレテ David Negrete (アルト・サクソフォン奏者) カルフォルニア・サンディエゴ出身。全額奨学金でボストンのパークリーで音楽院に入学し、卒業後はニューヨークを拠点に活動。2011年日本に移住しトップランナーとして活躍している。 ○伊藤直子 又は、黒住倫代 (ダンサー)		
本公演 従事予定者数 (1公演あたり) ※ドライバー等 訪問する業者人数含む	出演者: 4 名 スタッフ: 6 名 合計: 10 名	運搬	積載量: 2 t 車長: 4.7 m 台数: 1 台

本公演 会場設営の所要時間 (タイムスケジュール) の目安	前日仕込み		無	前日仕込み所要時間		時間程度	
	到着	仕込み		上演	内休憩	撤去	退出
	9時	9時～12時30分		13時30分	10分	15時10分	17時

※本公演時間の目安は、午後、概ね2時間分程度です。

本公演 実施可能日数目安 ※実施可能時期については、採択決定後に確認します。(大幅な変更は認められません)	6月	7月	8月	9月	10月	
	10日	15日	20日	10日	10日	
	11月	12月	1月	計	80日	
	5日	5日	5日			

※平日の実施可能日数目安をご記載ください。

児童・生徒の 参加可能人数	本公演	共演人数目安	1名～750名
		鑑賞人数目安	1名～750名



ステージに演奏者が上がるスタイルだけでなく、体育館等、フラットな場所を使用し、ミュージシャンを囲むように鑑賞することも可能です。

会場の様子です。
右上は、ワークショップの練習の様子。下は、ダンスの練習の様子です。

公演に係るビジュアルイメージ
(舞台の規模や演出や
がわかる写真)

※採択決定後、採
択団体へ図面等詳
細の提出をお願い
します。



児童・生徒の 参加可能人数	ワークショップ	参加人数目安	1名～750名
<p style="text-align: center;">ワークショップ 実施形態及び内容</p>	<p>▼実施形態 主指導者：古野光昭(バンドマスター・ベース)、ピアニスト 他3名 合計5名で実施します。 児童、生徒は、鍵盤ハーモニカ、リコーダー等で参加します。 また、テキーラのボディパーカッション、ジャズ音楽のリズムに合わせたダンスを指導し、練習します。 本公演に備えた練習と、ジャズという音楽を楽しんで頂く、準備を行います。 できるだけ全員参加をお願いします。</p> <p>▼内容 【1】ジャズについて、普通のリズムとの聴き比べをします。「きらきら星」「ドレミの唄」を使います。 【2】ミュージシャンが、音楽を好きになったきっかけ、ジャズの魅力を話します。 【3】楽器の特長などを話し、各楽器で演奏します。 【4】ジャズの手拍子の取り方を指導します。ジャズは、アフタービート(裏打ち)が主となります。 【5】ジャズの曲「A列車で行こう」を演奏します。【4】で練習した手拍子にチャレンジします。 【6】子どもたちの演奏に、ミュージシャンがリズムをつけます。(共演) 地域で根付いている曲、または音楽の授業で練習した曲を使用して頂きます。 【7】「ウッドベース」の楽器紹介と、有志が演奏を体験します。「聖者の行進」で共演します。 【8】本公演で共演するジャズの曲「Cジャムブルース」を練習します。「ソ」と「ド」でテーマが出来ている簡単な曲です。耳で聞いて覚えて、練習します。 【9】ジャズの特徴である即興演奏についてお話します。 【10】ジャズの曲に合わせて、踊ります。「君にのせて(ジャズバージョン)」と「テイク・ファイブ」を練習します。ジャズ特有のアフタービートを身体で感じる、また特殊な4分の5拍子の曲を踊ることで、ジャズにより興味をもつことができます。 【10】リズムの種類によって、曲が変化することを体感します。「星に願いを」の曲を、4ビート、ワルツ、8ビート、サンバ、ファースト4ビートで演奏し、子供たちは、手拍子で参加します。 【11】ボディパーカッションを練習します。「テキーラ」のかけ声を学校名に変えてボディパーカッションを楽しみます。 【12】質問コーナーを設けます。 【13】「セント・トーマス/作曲 ソニー・ロリンズ」等、力の良いジャズの曲を演奏し、みんなで体を動かし、リズムにのって楽しむことを体験します。</p>		
<p style="text-align: center;">ワークショップの ねらい</p>	<p>ワークショップも、バンドマスターの古野光昭が伺い、本公演とは全く別のアプローチで、ジャズに親しむことをめざして行います。手拍子、ダンス、ボディ・パーカッション、かけ声等、子供たちが、からだでリズムを感じて、自然に音楽と一体になれるよう、工夫しています。 共演等は、子供たちの演奏に、リズムを加えて楽しみ、いつもより高揚する気持ちを体感してもらい、より音楽が好きになったり、興味関心を喚起することを目指しています。</p> <p style="text-align: center;">↓</p> <ul style="list-style-type: none"> ●ジャズに親しんでもらうために、盛りだくさんの体験プログラムを準備しました。 ●体験プログラムを通じて、演奏者とのコミュニケーションも深まり、ジャズ音楽が身近になります。 ●身体でリズムを感じることで、ダンスの練習を通じて繰り返してリズムにのることで、音楽の面白さ、楽しさに気が付く可能性が高くなります。「テイク・ファイブ」が街で流れたら、思わず体が動き出すような音楽の躍動感を体感してもらいます。 ●Cジャムブルースは、耳で聞いて覚えて演奏します。楽器の演奏も、歌を覚えるようにメロディーを感じ、しっかり演奏できることで、演奏に自信が持てるようになります。 		
<p style="text-align: center;">その他ワークショップに 関する特記事項等</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1) 本公演に沿って、練習を行いますので、できるだけ全員参加でお願い致します。 2) ピアノは、ステージ上でも、下でも対応可能です。 3) 参加人数によりますが、子供たちとの共演は、3曲まで対応可能です。学年ごとでも、クラスごとでもかまいません。音楽の授業のなかで練習されてる曲を、演奏していただければ、演奏家がバックアップを行います。できるだけ、ご参加ください。 4) 本公演では、先生方との共演も希望しており、「Cジャムブルース」での即興演奏での参加は、特に大歓迎です。ワークショップで、打合せしながら進めさせていただきます。 5) 他の曲での先生との共演を希望しています。子供たちが、先生の演奏で、さらに身近に感じることもあり、楽器演奏のお好きな先生とのコラボを企画しています。練習の時間をもちますのでご参加ください。 5) ウッドベースの体験コーナーは、時間の関係で各学年1名が限度ですが、あらかじめ決めて頂かないで、その場で挙手をお願いする予定です。 		

C区分で事業を実施するに当たっての工夫

【公演団体名 古野光昭フルノーツ ジャズ・トリオ 】

<p>C区分で事業を実施するに当たっての工夫</p>	<p>i) 離島・へき地等における公演実績</p> <p>北海道から九州まで、何度か伺っています。奥尻島、屋久島、西表島等。特に大変だったのは、西表から漁船をチャーターして、移動した鳩間島です。また、西表島の浮間という地域は、同じ島でも道がなく、船で移動。車が通らないので、リヤカーで機材と楽器を運びました。</p> <p>ii) 離島やへき地等の地理的に特殊な事情がある地域で実施する上での工夫や、小規模な公演であっても公演及びワークショップの質を保つための工夫</p> <p>へき地の場合は、車移動が可能ですから、コンパクトな機材を載せて、できるだけ質を落とさず、開催します。小規模な学校であれば、演者により近い位置で聴くことができるため、ピアノの位置にもよりますが、ステージにより近い、囲むような形態をとります。したがって、演奏者の手の動き、息遣い、表情等も感じられる等、A区分では味わえない別の角度から、音楽を楽しむことができるように工夫します。また、より深いコミュニケーションを図るべく、ジャズでダンスを踊ることも取り入れました。</p> <p>本来、ジャズのトリオは、ピアノ、ベース、ドラムスですが、ドラムスの代わりに、日本を代表するベーシスト古野光昭がリズムを刻み、ドラムスがなくても充実した演奏を披露します。何よりも、演奏者の実力さえあれば、小規模でも音楽は伝わり、感動します。素晴らしい演奏者を準備しております。</p> <p>iii) C区分申請における、小規模な公演の観点から実施する経費削減等についての工夫</p> <p>通常、ドラムス等の打楽器は、重く、手で運べないため、参加しません。運送自体が大変であるのと、音響機材がドラムの調整のために増えるのを懸念し、除外して、ジャズトリオでめぐります。出演費も、機材費に関しても、A区分よりも安価になります。</p> <p>離島の場合、漁船での移動になれば、楽器車にウッドベースと共に、サイレントベースを積載し、楽器が濡れないよう、サイレントベースにて本公演、ワークショップを行う予定です。音響機材に関しては、水に濡れないように梱包し、漁船でもリヤカーでも運べる大きさを選択します。</p> <p>できるだけ経費削減を行います。</p> <p>ただ、離島であっても、へき地であっても、質の高い文化芸術を体験してほしい、と切に願ってエントリーしており、一般の子どもたちと差が出ないように、心がけます。</p>
----------------------------	--